

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 収集管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県美術館 総務部 管理調整係 電話番号：058-271-1313

E-mail : c21801@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,362千円 (前年度予算額： 8,362千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	8,362	0	0	0	0	0	0	0	8,362
要求額	8,362	0	0	0	0	0	0	0	8,362
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・県美術館では購入・寄贈等の作品等について、作家・作品の調査を行い、その成果を収集委員会に諮って収集委員からの意見聴取を経て収蔵している。
- ・新たに収蔵した作品の写真撮影、台帳の製作を行う。
- ・令和9年度(開館45周年)記念事業開催に向けた柱となる作品収集のための国内外での調査が至急求められる。
- ・作品の保存・修復を計画的、継続的に行うことで、県有財産としての美術品を活用する。
- ・指定文化財の保存管理のための環境調査を国から求められている。

(2) 事業内容

1 収集委員会の開催とそれに伴う準備

- ・収集委員会は館長が招集し、7人で構成、任期は1年。
- ・作品収集の調査旅費、寄贈者等への謝礼・感謝状に関する業務。
- ・収集する作品の搬送。

2 作品の保存修復

- ・生物生息調査、燻蒸（低酸素濃度処理）
- ・空気環境調査
- ・日常的な保存管理業務（装丁入替、フレーム修繕、アクリル交換など）
- ・野外彫刻の保守点検
- ・文化庁重要文化財取扱研修会出席
- ・修復する作品の修理工房への搬送

（3）県負担・補助率の考え方

県民の財産である美術品の収集管理事業であり、県の負担は妥当である。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	243	収集委員会謝礼（7名）、事前調査謝金
旅費	889	収集委員会費用弁償、美術品調査集荷立会い旅費、修復打合せ旅費、研修旅費
需用費	158	写真台帳消耗品、空気環境調査消耗品、生物調査消耗品
委託料	6,560	美術品梱包輸送、写真台帳作成、委員会準備委託、現地通訳、生物調査、燻蒸、野外彫刻保守点検、絵画修復、額縁調整、マット装丁
備品購入費	512	フィルム保管用湿度調整キャビネット
合計	8,362	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・美術館に所蔵する美術作品を選定するための収集委員会の開催。
- ・収集した作品について、保存環境調査、作品の状態調査、装丁調整、修復写真撮影等の管理。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R3-5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①収蔵作品点数	4,329	4,375	4,435		5,000	88%
②保存修復対象 作品点数	※改修工事中 151	231	77	77	2,000	

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和5 年度	収集候補資料の調査及び収集委員会の実施 (寄贈作品：29点)
	収集候補資料の調査継続（作家、画廊等での情報収集） 郷土作家作品の調査（岐阜市、各務原市、関市、高山市） ルドン作品の調査（フランス）
令和6 年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
	収集候補資料の調査及び収集委員会の実施 (購入作品：4点、寄贈作品：1点)
令和7 年度	収集候補資料の調査継続（作家、画廊等での情報収集） 郷土作家作品の調査（岐阜市、各務原市、多治見市、関市） ルドン作品の調査（フランス）
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
	収集候補資料の調査及び収集委員会の実施 (購入作品： 点、寄贈作品： 点)
	収集候補資料の調査継続（作家、画廊等での情報収集） 郷土作家作品の調査（岐阜市、各務原市、多治見市、関市） ルドン作品の調査（フランス）
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	県の財産である収蔵作品の保存状態を管理することはその価値を維持するだけでなく、利活用により新たな価値を創出するため、収集管理事業は不可欠であり、管理者である県が関与する必要がある。 指定文化財の保管管理に関し、収蔵環境調査（生物生息、空気環境、温湿度の管理）の徹底を国から求められている。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 3	郷土関係作家、ルドン・コレクションなど、岐阜県美術館の美術品収集の内容には定評があり、所蔵品で構成する展覧会に対しても県内外から高い評価を受けている。 作品の装丁調整等を行うことで収蔵品の保存と活用だけでなく鑑賞空間の安全確保が可能となり、館内外での展示公開によって岐阜県美術館コレクションの評価をさらに上げる効果をもたらしている。 保存修復事業により培った作品保管取り扱い技術は、美術品取り扱いに関する県内市町村や県民からの相談に活用されており、県民財産の保存に有効となっている。
-----------	---

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 1	令和6年度は国民文化祭記念事業にあわせて購入作品についての収集委員会を開催とし、また寄贈作品等については、下半期の委員会開催とした。収集委員会のスムーズな開催に向けて調査研究、作品の集荷等を行った。また収集候補作品の選定にあたっては部内の会議を複数回実施し協議を重ねた。
-----------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

収集候補作品の内容にあわせて、それぞれのジャンルにおいて最新の詳細な情報を有する専門家に、収集委員に就任してもらうべく努めている。今後の作品収集に有益な情報を得るためにも、早期に新たな委員候補への打診と内諾を得ることが必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

当館では国指定の重要文化財及び登録美術品、旧登録美術品を所蔵・管理しており、R7年から8年にかけて公開承認施設として認定される予定。ただし改修工事からまるなく10年となるため保管展示環境が規定水準以上を維持できているか、調査の実施が必要である。開館50周年に向けて、既存コレクションを活かしながらさらに活発な活動をもたらす、岐阜県美術館でしかできない作品収集・コレクション形成が必要である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	